

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

平成30年2月1日号への掲載の申込みは、12月22日(金)までに、広報広聴課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

| 広報みしま | 締切日 |
|------------|---------------|
| 平成30年2月1日号 | 12月22日(金) |
| 平成30年3月1日号 | 平成30年1月25日(木) |
| 平成30年4月1日号 | 平成30年2月23日(金) |
| 平成30年5月1日号 | 平成30年3月23日(金) |

文化

第4回ちびっこ国際教室 World school～世界の学校～

☎12月16日(土)午後1時～4時 場日本大学国際関係学部三島校舎 園子どもたちに海外に興味を持ってもらうため日大生と外国人講師が10カ国以上の国々の歴史、言語、音楽などについての授業を開講
☎100円(保険料) 園小学生 冠先着75人
☎12月10日(日)までに ✉chibikoku.nichidai@gmail.com に空メール 園戸高080・3973・1073

知徳高等学校吹奏楽部 第25回定期講演会

☎12月17日(日) ▶開場：午後1時20分
▶開演：午後2時 場長泉町文化センター大ホール 園演奏曲目行進曲「富士の山」、音楽物語「シエルプールの雨傘」によ

るジャズの歴史、ザ・ヒットパレード2017ほか 園無料 園知徳高等学校・佐藤、森本 ☎975・0080

伊豆中央吹奏楽部 第28回冬のコンサート

☎12月23日(土・祝) ▶開場：午後2時 ▶開演：2時30分 場長岡総合会館アクシスカつらぎ大ホール 園指揮：藤田光介、曲目：アルセナール、ホルスト(第2組曲) 園無料 園伊豆中央高等学校 ☎949・4771

スポーツ

静岡県書道連盟創立70周年記念 書きぞめ展

☎平成30年1月6日(土)・7日(日)午前9時～午後5時(最終日午後4時まで) 場生涯学習センター3階 園幼稚園、小・中学校、高校、一般の作品約2,000点を展示 園奈良橋 ☎975・2505

三島市テニス協会硬式テニス教室

☎平成30年1月11日～3月15日毎週木曜日午後1時～3時 場文教テニスコート 園6,000円(8回分) 園市内在住、在勤の18歳以上の人 冠初心者：10人、初級～中級者20人 園12月20日(日)までに往復はがきに住所、氏名、希望クラス、電話番号を記入し、市民体育館内三島市テニス協会硬式テニス教室宛 ☎411・0033 文教町2・10・57 園新妻 ☎090・5103・1819

北上手話ダンスサークル会員募集

☎毎月第2、4月曜日午前9時45分～正午 場北上文化プラザ第1研修室 園手話とステップを使い曲と歌詞に合わせて楽しくダンス! 園月1,000円 園榎 ☎986・6997

「集まれ!第3回真冬の大会」 からだを使って楽しく遊ぼう

☎平成30年1月13日(土)午後2時～4時 場市民体育館 園ボール投げ、縄跳び、バスケットボールなど、保護者は健康運動士のストレッチや姿勢確認などの体験可 園1人200円(保険代) 園年長、小学生とその保護者 冠50人 園上履き、飲み物着替えなど 園 園平成30年1月13日(土)までに後藤 ☎986・3872

楽しくステキなウオーキングダンス 参加者募集

☎毎週木曜日午前9時30分～11時30分 場市民体育館、市民文化会館ほか 園軽快なリズムにのせて踊るゲーム感覚のスポーツです。アメリカ生まれのステキなダンスです。 園月1,500円 園軽い運動のできる服装、靴 園 園中田 ☎090・4234・0560

「市民活動団体応援コーナー」は電子メール・FAXで申し込みできます市ホームページで「市民活動団体応援」と検索し、ダウンロードしてください。併せて締切日も掲載していますので、ご利用ください。



▲おいしいコロツケを召し上がれ

中国でも販売されています。みしまコロツケの普及が、三島の地域活性化の一助になっていることにやりがいを感じます。みしまコロツケは、来年10周年を迎えます。今まで以上に、ご愛顧よろしく願います。

三島馬鈴薯は元々ブランド品で、コロツケに使用した結果、知名度がさらに上がり、受注が増えています。現在、みしまコロツケの認定店舗は市内99店舗、全国に1000店舗以上あります(11月1日現在)。また、

シビックプライドとは…まちに誇りや愛着を持ち、主体的にまちづくりに関わること。当事者意識の高い市民がこのまちの主役です。

**シビック
プライド**
の旗手
みしまコロツケの会
会長 諏訪部敏之さん

三島に新しい名物を

企画展「挿絵で見る江川太郎左衛門英龍」は、平成30年2月12日（月・振休）まで開催中

歴史の小箱

No.355

昭和の風景

「三島競馬場」の

にぎわい

かつて三島と長泉の境には「三島競馬場」という名称の常設の地方競馬場がありました。今回はこの「三島競馬場」について紹介します。

昭和十五年（一九四〇）に三島町（現在の三島市）が発行した『観光の三島』というガイドブックには、多くの男女でにぎわう「三島競馬場」の写真が掲載されています。この競馬場は、もと伊豆長岡町（現伊豆の国市）の古奈にあった「長岡競馬場」が長泉村竹原（現長泉町竹原）に移転してできたもので、昭和十二年十月十三日に第一回公認競馬が行われました。

今日の競馬につながる近代競馬は、江戸時代の末に日本へもたらされたものです。最初に本格的な競馬場が作られたのは横浜で、その経営主体は在留外国



▲『観光の三島』に掲載されていた三島競馬場の写真

人でした。明治時代の末になると、軍馬の品種改良・増産・育成を目指す国策とかかわって、日本人が経営する競馬場が全国で営まれるようになり、競馬ブームが到来します。その後、紆余曲折を経ながら競馬は娯楽の一つとして社会に定着してきました。

さて「三島競馬場」は、一周一二〇〇m、幅二七メートルのコースを有し、馬券発売所、階段式の観覧席、食堂などを併設していました。昭和十四年二月二十四日の新聞『静岡新報』には、前日に最終日を迎えた三島

春季競馬大会が、県内地方競馬始まって以来の売上げを出したと報じていて、大いににぎわった様子が想像されます。

しかし太平洋戦争が始まり、戦況が激化すると、競馬の開催は不可能になってしまいました。さらには昭和二十年七月十七日の沼津空襲ではこの競技場も焼夷弾の投下をうけ、観覧席が全焼してしまいます。戦後、「三島競馬場」が再建を遂げるのは、昭和二十二年のことでした。翌二十三年十一月五日の『静岡新聞』には、「三島競馬場」で初めて県営競馬が開催されたことが報じられています。

このように、ふたたび三島周辺の市町村の人々に熱狂と興奮のひとつときを提供した「三島競馬場」でしたが、ほかの娯楽におされ、次第に業績が悪化して、昭和三十一年に廃止されてしまいました。かつて人々にぎわった競馬場跡地には、現在、竹原グラウンド、知徳高等学校などがあります。



鈴木彰 引才・鈴木貞代 引才 加茂
鈴木 遥紀(山田小6年)

ぼくのおじいちゃんは、シルバー人材センターで、庭木のせん定や除草、草刈りをしています。昨年、軽い熱中症で倒れ、救急車で運ばれたのでぼくはとても心配しました。でも、今もはりきって働いています。おばあちゃんは、毎日おいしい味噌汁を作ってくれて、洗濯やお掃除をしてくれます。おばあちゃんの作る和食は、とってもおいしいです。いつまでも元気で、あまりけんかしないで、仲良く長生きしてね。また一緒に出かけようね。

ぼくのおじいちゃんおばあちゃん

当番 すずき はるきさん